

大規模修繕工事の生産性向上へ 「リサーチパッド」を導入

大規模修繕で建物を守り、再生街づくりを通じて社会と地球環境に貢献するヤシマ工業株式会社（本社：東京都中野区、代表取締役社長：西松みずき、以下、「当社」）は、大規模修繕工事における生産性向上の一環として、現場管理システム「リサーチパッド」を活用し、より効率的な工事運営を実現しています。従来の管理方法では、紙の図面・帳票や手作業による情報共有が主流でしたが、「リサーチパッド」を導入することで、リアルタイムでの情報共有と業務効率の向上が可能となり、作業時間の短縮、ミスの削減を実現し、大幅な業務効率化が図れています。



「リサーチパッド」とは？

「リサーチパッド」は、施工管理業務の効率化を目的としたクラウド型システムで、現場スタッフ、施工管理者、クライアントがリアルタイムで情報を共有できるプラットフォームです。主な機能として以下の点が挙げられます。

- **デジタル化された工事進捗管理**：工事の進捗状況をタブレットで即時確認
- **写真・動画の共有**：現場状況をビジュアルで記録し、関係者全員が最新情報を把握可能
- **電子報告書作成**：作業報告をデジタル化し、手書きの書類作成の手間を削減
- **チャット・通知機能**：関係者間で迅速な連携を実現

「リサーチパッド」導入のメリット

「リサーチパッド」の活用により、ヤシマ工業では以下のようなメリットを実感しています。

1. 業務効率の向上

- 作業報告や確認作業のデジタル化により、現場作業の時間短縮
- 紙の書類を減らし、データの一元管理を実現
- 手続きの簡略化により、管理業務の負担を大幅に軽減

2. リアルタイムな情報共有

- 現場とオフィス間の情報共有がスムーズに
- 工事進捗の可視化により、迅速な意思決定が可能に

3. 品質と安全管理の強化

- 施工記録の詳細なデータ管理により、お客様に提示する提案や見積の精度向上
- 現場での安全管理をリアルタイムで確認し、リスクの早期発見が可能

ヤシマ工業の DX 推進と今後の展望

当社の DX 化は 20 年以上前から取り組まれてきました。書類や手作業が主流だった状況に課題を感じた先代社長のもと、デジタル・IT・システム化を推進。現在では社員の労務やスケジュール、営業進捗や現場管理を一元的にシステムで管理し、プロジェクト全体を可視化することでリアルタイムでの全社共有が可能となっています。

大規模修繕工事においては、契約から着工、竣工、アフターメンテナンスまでをシステム化し、年間 100 件以上の案件を効率的に管理。見積り作成や工事進捗管理、請求支払いの調整など膨大な作業をデジタル化することで、手作業によるミスや業務時間を大幅に削減しました。また、施工後の定期点検や修繕提案も一元管理し、長期的に安心していただけるサービスを提供しています。社内業務では、オンラインミーティングや動画配信の導入により、各現場の社員をつなぎ、案件や工事の進捗状況を全社で共有し迅速な対応を実現。効率化と精度向上を両立する DX 基盤を構築しています。

一方で、情報の分散が課題として残っており、今後は情報の連携・集約をさらに強化していく予定です。そのため、情報システム部門の新設や外部人材の活用を進めており、資本を投じながら DX の深化を目指しています。これらの取り組みにより、さらなる業務効率化と精度向上を図り、時代に即したサービス提供を続けていきます。

建物に、健康寿命を。

ヤシマ 1804

ヤシマ工業株式会社

<会社概要>

会社名：ヤシマ工業株式会社

創業：文化元年（1804 年）

代表者：代表取締役社長 西松みずき

従業員数：113 名（令和 6 年 7 月現在）

本社所在地：東京都中野区新井二丁目 10 番 11 号

建物の長寿命化に関わって 220 年。「壊さないことへの挑戦」をする総合改修工事会社として、これまで 5,000 棟以上もの大規模修繕に携わってきました。人生 100 年時代と言われる現在、ただ長生きするのではなく、健康に長生きすることが重要だと言われています。それは建物も一緒。古いまま残っているだけでは意味がなく、古くてもだれからも愛されてほしい。だれもがここに住んでみたいと思える、そんな建物を目指すべきだという意味を込めて、「建物に、健康寿命を。」というスローガンを掲げています。

<本件に関する報道関係者お問い合わせ先>

ヤシマ工業株式会社 東京都中野区新井二丁目 10 番 11 号（電話）03-6365-1820

広報担当：奥野絵里奈 080-4329-3177 / okuno.erina@yashima-re.co.jp